

# 【用語解説及び索引】

## あ行

- \*37 アイドリングストップ ..... 36、37  
自動車の駐停車時において不必要なエンジンの使用を中止するものです。大気汚染防止や騒音・悪臭防止はもちろん、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を抑制できます。
- \*7 アジェンダ21 ..... 1  
地球サミットにおいて、21世紀に向け持続可能な開発を実現するため、採択された行動計画のことです。アジェンダ21は、前文及び 社会的・経済的側面、 開発資源の保護と管理、 主たるグループの役割の強化、 実施手段の4部で構成され、全40章から成り立っています。
- \*42 アスベスト ..... 38  
天然に産する繊維状けい酸塩鉱物で「せきめん」「いしわた」と呼ばれています。以前はビル等の建築工事において、保温断熱の目的で石綿を吹き付ける作業が行われていましたが、昭和50年(1975年)に原則禁止されました。その後も、スレート材、ブレーキライニングやブレーキパッド、防音材、断熱材、保温材などで使用されましたが、現在では、原則として製造等が禁止されています。アスベストは、目に見えないくらい細かい繊維のため、気づかないうちに吸い込むと肺がんや悪性中皮腫などの病気を引き起こす恐れがあります。
- \*25 アドプト制度 ..... 23、24、53  
事業所や住民グループが、道路や公園、河川などの公共物を自分たちの養子とみなし、定期的空き缶拾いなどの清掃・美化活動を行うボランティア制度。ゴミ処理やゴミ袋の提供等については行政が役割分担することから、ボランティアをする住民と行政が互いに助け合いながら、地域をきれいにするといい「協働」の取り組みの一つとされています。
- \*31 硫黄酸化物 ..... 35  
主に二酸化硫黄(SO<sub>x</sub>)などの硫黄が酸化した物質の総称のことです。石炭、石油などの化石燃料の燃焼に伴い発生し、せき、呼吸困難及び気管支炎を起こすなど、呼吸器系にとって有害であるほかに、酸性雨の要因の一つになっています。なお、二酸化硫黄については環境基準が定められています。
- \*52 エコイベントマニュアル ..... 55  
町の主催・共催、又は主体となった実行委員会が実施する式典、催し、行事等の「イベントにおける環境配慮」を目標に廃棄物の減量化、自家用車の利用削減等を内容とした本町作成の行動マニュアルをいいます。
- \*11 NPO ..... 2、3、5、9、10、11、13、14、25、30、45、52、53、57  
NPOとは、Non Profit Organization の略で、様々な非営利活動を行う非政府、民間の組織であり、通常「民間非営利組織」と呼ばれています。NPOには、多種多様なものがあり、学校、病院、老人ホームなどを経営する事業型NPO、そうした活動に資金を提供する助成財団、環境問題など社会問題に取り組んだり、国際援助・交流を行う市民団体などが含まれます。中でも法人格を取得した団体を特定非営利活動法人(NPO法人)といいます。
- \*3 オゾン層 ..... 1、4、9、31  
地上約10キロメートルから50キロメートル上空にわたる成層圏に位置しているオゾンが高濃度に存在する大気層のことです。太陽からの紫外線のうち、特に生物に有害な波長をこの層で吸収しますが、最近では、南極をはじめ高・中緯度地域でもフロンガスなどの影響により、オゾン層の減少がみられています。オゾン層が破壊されると、地上に達する有害な紫外線の量が増え、皮膚がんの増加や生態系への影響が懸念されるため、オゾン層の破壊が地球環境問題として取り上げられています。
- \*9 温室効果ガス ..... 1、9、30、31  
太陽光によって暖められた地表面から放出される赤外線を吸収し、大気を暖め、一部の熱を再放出して地表面の温度を高める効果を持つガスのことです。代表的なものとして二酸化炭素、メタン、フロンガスなどがあります。

か行

- \*36 環境基準 ..... 35  
 人の健康を維持し、生活環境を保全する上で維持することが望ましいとされている基準のことです。行政上の目標として環境基本法第16条に基づき定められており、大気汚染、水質汚濁、地下水汚染、土壌汚染及び騒音について環境基準が設定されています。
  
- \*10 環境基本法 ..... 1  
 近年の我が国の環境問題の構造的変化や地球環境問題への取組みの必要性の高まりに対処するため、環境の保全についての基本理念、各主体の責務、基本的施策など、環境保全に関する施策の基本的な枠組みを定めた法律で、公害対策基本法に代わり平成5年(1993年)11月に施行された法律です。
  
- \*50 環境と経済の好循環 ..... 53  
 環境を良くすることが地域経済を発展させ、地域経済の活性化により環境がさらに改善していくような好循環の社会をめざし、環境省がビジョンとして取りまとめたものです。
  
- \*15 環境マネジメントシステム ..... 14、31、56、57  
 事業所が活動を行う際に、法令等の規制基準を遵守するのみでなく、環境への負荷の低減を図るため、自ら遵守すべき環境保全の方針や達成すべき目標等を設定し、これらの実行や達成のための自主的な取組みを行うことで、代表的なものには国際標準化機構(ISO)が制定したISO14001があり、「環境保全に関する方針・目標などを定め、これを実行・記録し、その実行状況を点検して方針などを見直す」という一連の取組みにより環境の継続的な改善を目指すものです
  
- \*14 合併処理浄化槽 ..... 8  
 し尿に加えて、台所、風呂、洗濯などからの生活排水をまとめて処理する浄化槽のことです。し尿だけを処理する単独処理浄化槽と比べて、生活排水も処理し、また、その処理能力も高いため、放流水の水質を向上させることができます。
  
- \*19 近郊緑地保全区域 ..... 18  
 首都圏の近郊整備地帯又は近畿圏の保全区域内で、相当規模の広さを有する樹林地などの良好な自然環境が形成されている近郊緑地のうち、無秩序な市街化の防止、周辺地域の住民の健全な生活環境の確保、公害・災害の防止の効果が著しいものとして、内閣総理大臣が指定する区域。本町では、南部地域に「北摂連山近郊緑地保全区域」が指定されています。
  
- \*8 京都議定書 ..... 1  
 平成12年(2000年)以降の先進国の地球温暖化対策として具体的な削減対象ガス(二酸化炭素、一酸化二窒素、メタンなど)とその削減目標(平成2年(1990年)水準から先進国全体で5.2パーセント、日本は6パーセント)達成期間(平成20年(2008年)から平成24年(2012年)の間)を定めています。平成16年(2005年)6月に正式に発効しました。
  
- \*17 グリーン購入 ..... 15、28  
 商品やサービスを購入する際に必要性を十分考慮し、価格や品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先的に購入することをいいます。
  
- \*49 建設副産物 ..... 52  
 建設工事に伴い副次的に得られる物品で、建設発生木材やコンクリート塊のように原材料として利用できるもの又はその可能性のあるものや建設発生土のようにそのまま原材料となるものがあります。
  
- \*34 光化学オキシダント ..... 35  
 大気中の窒素酸化物や炭化水素が、太陽の紫外線の作用によって光化学反応を起こすことにより、二次的に生成された酸化性物質の総称のことです。光化学オキシダントは、大気汚染項目の一つとして環境基準が定められており、光化学スモッグの指標とされています。

\*41 公共施設循環バス「ふれあいバス」…………… 38  
高齢者等で車を運転されない人の移手段の確保を目的に町内の公共施設を循環するバス。

\*51 こどもエコクラブ …………… 55  
環境省では、地域において環境保全に関する活動を行う数人から20人程度の小・中学生のグループを「こどもエコクラブ」として、募集し支援を行っています。「こどもエコクラブ」として登録されたグループは、共通的な環境学習プログラムを行うほか、クラブ毎に活動目標を決め独自の環境活動を行います。

\*16 5R …………… 15、28  
循環型社会を実現するためには、単に排出されたものをリサイクルするだけではなく、まず第1にreduce（資源・エネルギーの投入量を減らす）第2にreuse（繰り返し使う）第3にrecycle（再生利用する）を行うこと（3R）が重要となります。5Rとはそれにrefuse（ごみとなる物の受け取りを拒否する）、repair（修理して使う）という行動が加わります。

## さ行

\*13 里山 …………… 4、8、18  
里山とは、奥山と都市の中間にあって、薪や柴を切り、炭を焼き、落ち葉を集めて肥料にしたりしてきた雑木林、森林をいいます。現在は、生活様式が変わり、人が里山に入らなくなったため荒廃が進んでいます。

\*12 参画と協働 …………… 2、3、23、53  
「参画」とは、計画(の立案)に加わること。「協働」とは、共に働くことです。「参画と協働」とは、住民、事業者と行政が一緒になって、自分たちの地域を住みやすくするため、知恵や力を出しあって、みんなのことはみんな決めて、さまざまな地域づくりに取り組んでいくことです。

\*4 酸性雨 …………… 1  
硫酸酸化物、窒素酸化物などの大気汚染物質が大気中の水分に溶け込み、強い酸性を示す雨のことです。通常pHが5.6未満の雨のことですが、霧や雪あるいは乾性降下物を含めた広い意味で使われる場合もあります。酸性雨は森林の枯死や、湖沼などの生態系の破壊、文化財の侵食などの要因として地球環境問題の一つになっています。

\*18 水源涵養<sup>かんよう</sup> …………… 17、19  
雨水等を吸収し、水源の枯渇を防ぐことをいいます。森林は、雨水等の地下浸透を促進し地下滞留水の増加を図る効果があります。森林の利水機能の発揮によって洪水調節効果、湧水緩和効果が図られる。

\*43 水素イオン濃度（pH）…………… 39  
pHは、水素イオン濃度のことです。水の酸性・中性・アルカリ性を示す数値です。pH7が中性でそれより数値が大きくなるとアルカリ性、小さくなると酸性になります。植物プランクトンの光合成や工場排水などにより数値が増減します。

\*44 生物化学的酸素要求量（BOD）…………… 39  
河川や排水、下水などの汚濁の程度を示す代表的な指標の一つで、水中の有機物質が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量です。BODの値が大きいほど水中の有機物質が多く、水が汚れているといえます。

\*46 清流パトロール …………… 47  
廃棄物の不法投棄により、道路、河川などの良好な環境を損なわれることを防止するとともに住民に対し町が率先し地域環境を保全することにより、町全体で環境を守り育てることを目的とし、町職員が毎月1回パトロール及び投棄された廃棄物の回収を行うものです。

た行

- \*30 太陽光発電システム ..... 31  
太陽の光エネルギーをシリコンなどの半導体により、直接電気エネルギーに変換するもので、発電時に地球温暖化の原因とされる二酸化炭素を排出しないクリーンエネルギーとされています。
- \*38 ダイオキシン類 ..... 37  
一般には、ポリ塩化ジベンゾ-p-ジオキシン(PCDD)及びポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)の総称のことです。ダイオキシン類には、塩素の数や配置によりPCDDで75種類、PCDFで135種類あり、廃棄物の焼却などの過程で非意図的に生成されます。これらに似た分子構造、毒性作用を示すものとしてコプラナーPCBがあり、ダイオキシン類などとして監視しています。現在、ゴミ焼却場についてはダイオキシン類の発生を防止するための施設や設備の構造、焼却条件についてのガイドラインが示されています。また、ダイオキシン類を示す単位として(Pg-TEQ)が用いられますが、pg(ピコグラム)は1兆分の1グラムのことをいい、TEQ(毒性等量)は毒性等価換算濃度の略をいいます。
- \*22 棚田 ..... 20  
山の斜面や谷間の傾斜地に、階段状に造られている水田をいいます。保水機能や洪水調整機能、地すべり防止機能といった国土保全、生態系保全の役割を果たしています。
- \*2 地球温暖化 ..... 1、4、9  
人間活動の拡大により、二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスの大気中の濃度が増加し、地表面の温度が上昇する現象のことです。二酸化炭素排出の最大の要因はエネルギー消費に伴うものであり、地球温暖化の防止に当たっては、温室効果ガスの削減や森林の保全などが必要です。
- \*5 地球サミット ..... 1  
平成4年(1992年)6月、ブラジルのリオデジャネイロにおいて、持続可能な開発の実現のために環境と開発を統合することを目的として開催された「環境と開発に関する国連会議」(UNCED)の別称です。地球サミットでは、人と国家の行動原則を定めた「環境と開発に関するリオ宣言」、そのための詳細な行動計画である「アジェンダ21」や「森林に関する原則声明」を採択したほか、「気候変動に関する国際連合枠組条約」や「生物の多様性に関する条約」についても、それぞれ150カ国以上が署名しました。
- \*47 地区計画 ..... 50、51  
都市計画法に定められたまちづくりの一手法で、広い区域を対象とする都市計画や、個々の建物を対象とする建築規制などとは異なり、いくつかの街区などからなる比較的小規模な地区を単位として、道路・公園等の配置や建築物の用途・形態等について定めることにより、地区の特性に応じたきめの細かいまちづくりをめざすための制度です。
- \*20 地産地消 ..... 20  
「地域生産地域消費」を略した言葉で、地域で生産された食材をその地域で消費することをいいます。
- \*32 窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>) ..... 35  
一酸化窒素 (NO) や二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)など、窒素と酸素の化合物の総称のことです。窒素酸化物の主な発生源は自動車や工場からの排出ガスであり、大気汚染物質の一つとして呼吸器系に対する有害性が知られているほか、酸性雨の原因にもなっています。なお、二酸化窒素については、環境基準が定められています。
- \*1 都市・生活型公害 ..... 1  
都市化の進展やライフスタイルの変化により、主に私たちの日常生活に伴って発生する生活環境の悪化のことです。自動車からの排出ガスによる大気汚染や生活排水による水質汚濁、近隣騒音などがあります。

## な行

\*35 二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>) ..... 35  
気体は亜硫酸ガスともいい、有毒で、石油や石炭の燃焼時に硫黄分が酸化してSO<sub>2</sub>として排出され、大気汚染の原因となります。無色で刺激臭があり、人体への影響は、粘膜質、特に気道に対する刺激作用があります。

## は行

\*40 パーク・アンド・ライド ..... 37  
都心部等の自動車交通混雑の緩和を図るため、都心部に乗り入れる鉄道の郊外駅、バスターミナル等の周辺に駐車場を整備し、自動車を駐車（パーク）させ、鉄道、バス等公共交通機関への乗り換え（ライド）を促すシステムをいいます。

\*23 ビオトープ ..... 21、22  
「生物」を意味するbioと「場所」を意味するtoposの合成語(ドイツ語)で、「生物の生息に適した場所」を意味します。植生豊かな水辺や雑木林などは多様な生物が生息・生育するビオトープといえます。また、開発事業などに際して積極的に維持、回復及び創出が図られる野生生物の生息・生育環境という意味で用いられることもあります。

\*39 PTPS ..... 37  
公共車両優先システム（PTPS）。バスレーンの確保や、バス優先信号制御等を通じてバスの定期運行を確保し、公共車両の運行支援を行うことにより、バスの利便性や定期性の向上を図るシステム。

\*33 浮遊粒子状物質（SPM）..... 35  
大気中に浮遊する粒径が10マイクロメートル以下の物質。ディーゼル車の排ガス、工場のばい煙、道路の粉塵等が主な原因とされ、人の気道や肺胞に沈着し、呼吸器疾患を起こす原因とされています。

\*45 浮遊物質（SS） ..... 39  
水中に浮遊している物質の量で一定量の水をろ紙でこし、乾燥したその重量を測ることとされており、数値が大きいほど水質汚濁の著しいことを示します。BODとともに河川の汚濁の判断基準とされています。

\*29 フロン ..... 30、31  
フッ素を含むハロゲン化炭化水素の総称のことです。無毒で化学的にも安定しているため冷蔵庫、クーラーの冷媒、スプレー噴霧剤、精密機械の洗浄剤などとして多く使われてきました。しかし、オゾン層の破壊や地球温暖化に関係していることから世界的にその削減のための取組みが進められています。

\*26 ポケットパーク ..... 24  
都市環境をよくするためにわずかな土地を利用して住宅地や道路の沿道などに作られる小さな公園をいいます。

## ま行

\*28 マイホーム環境ISO ..... 30、31  
町が策定した家庭における環境マネジメントシステムで、省エネルギー、大気環境、水環境、ごみ減量、緑化、地球環境といった分野にわたる環境にやさしい取組項目の中から、挑戦する項目を選び、その項目を家族で役割を決め、取り組み、記録し、3カ月ごとにチェックリストを提出していただき、1年間続けることができた家庭には認定証を交付します。



や行

- \*21 有機肥料 ..... 20  
動物・植物性の有機物（たい肥・米ぬか・家畜ふん尿など）のうち肥料成分を含むものを原料とした肥料のことです。有機肥料は、土壌に施用した後は、いったん微生物によって分解され無機化してから植物に吸収され、農産物の品質もよくなりやすいともいわれています。
  
- \*27 容器包装リサイクル法 ..... 25  
正式には「容器包装に係る分別収集及び再商品推進等に関する法律」。平成3年(1991年)に施行された再生資源利用法（リサイクル法）に続き、新リサイクル法として平成7年(1995年)6月に成立、平成9年度(1997年度)より施行。容器包装を製造・利用する特定業者に再利用の義務を課しています。

ら行

- \*6 リオ宣言 ..... 1  
正式には「環境と開発に関するリオデジャネイロ宣言」といいます。平成4年(1992年)6月3日から14日までリオ・デ・ジャネイロで開催された環境と開発に関する国連会議（通称：地球サミット）で発表された宣言。各国は国連憲章などの原則にのっとり、自らの環境及び開発政策により自らの資源を開発する主権的権利を有し、自国の活動が他国の環境汚染をもたらさないよう確保する責任を負うなど27項目にわたる原則によって構成されており、6月8日に採択されました。
  
- \*48 緑地協定 ..... 50  
都市緑地法に基づき、土地所有者などがお互いに自分たちの住む街を良好な環境としていくために、関係者全員の合意によって区域を設定し、緑地の保全または緑化に関する協定を締結し、市町村長に認可申請するものです。

わ行

- \*24 ワークショップ ..... 23、24  
作業場、研修会などの意味で、地域に係る諸問題に対し、様々な立場の参加者から前向きな意欲を引き出し、交流や共同作業を通じて地域の課題、解決策、計画策定、評価をまとめる手法であり、その集まり(場)のことです。

---

## 猪名川町環境基本計画(第2次)

平成18(2006)年度～平成22(2010)年度

---

< 発行：猪名川町 >

〒666-0292

兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1

TEL.072-766-0001

編 集：環境経済部生活環境課